

夢と努力 岩崎さん語る

オリンピック 競泳女子

92年五輪競泳金メダリスト

湯来南高で講演



金メダルを手に努力の
大切さを説く岩崎さん

1992年のバルセロナ五輪競泳金メダリストの岩崎恭子さん(38)が12日、広島市佐伯区の湯来南高で講演した。夢に向かって努力を続ける大切さを生徒約80人に説いた。

五輪競泳史上、最年少の14歳で金メダリストになった岩崎さん。五輪後は家の電話が鳴り続けるなど生活が一変し、「大好きな水泳に気持ちが入らなくなった」と打ち明けた。

転機は94年の広島アジア大会出場を逃したこと。「次の五輪には出たいという気持ちが芽生え、『やらされている』と思っていた練習も前向きに取り組めた」と、目標を持って挑戦するよう訴えた。

生徒は岩崎さんが渡したメダルを触れながら、約1時間の話に聞き入った。2年広岡和樹さん(17)は「世界の頂点に立つ大変さ、その後の苦勞が聞くことができた。笑顔で語る言葉に重みを感じた」と話した。

中国新聞 2017(平成29)年 1月13日(金)